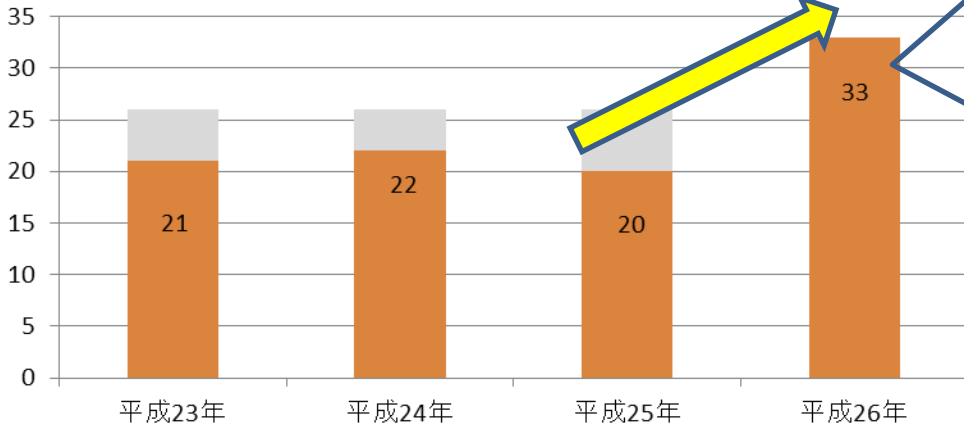


建設業死亡労働災害が多発しています！

死亡災害(人)(各年10月末現在)



平成26年10月末現在で建設業労働災害の死亡者数は33名となっています。これは、平成23年～平成25年の過去3年間の年間死亡者数26人を既に超えている状況です。

平成26年10月に発生した主な死亡災害事例

ドラグショベル用途外使用による災害

宅地造成工事現場において、トラックの荷台から敷鉄板を地上に下ろすため、ドラグショベル(クレーン機能無し、格子状のバケットに鋼棒を用いワイヤロープを引っかけた状態)を使用して敷鉄板を吊り上げようとしたところ、鋼棒がバケットから外れ、敷鉄板がトラックの荷台から滑り落ち、トラック側方の側溝で作業していた被災者に当該敷鉄板が激突し、敷鉄板の下敷きとなった。(60歳代・経験10年以上15年未満)

躯体外階段からの墜落災害

倉庫3階の増築工事(鉄骨造)において、被災者が躯体外階段の本設手すり枠を取り付ける作業を中断し、休憩を取ろうと当該階段を降りていたところ、踊り場から地上まで墜落し死亡したものの。(墜落高さ約8m)(60歳代・経験30年以上35年未満)

足場解体作業中の墜落災害

12階建てマンションの外壁改修工事現場で足場の解体作業を行っていた被災者が足場6層目より建物2階の底に墜落し死亡したものの。(20歳代・経験5年以上10年未満)

解体用車両系建設機械の転倒による災害

鉄筋コンクリート平屋の建物を解体する工事において、被災者は、車両系建設機械(解体用ブレーカ)を使用して解体作業を行っていたところ、当該建設機械が転倒し、地面と建設機械の間に挟まれて被災したものの。(60歳代)

屋根材料の踏み抜き災害

建物屋根材張替え工事において、屋根上で屋根材の張替え作業を行っていた被災者は、屋根の下地材である木毛板を踏み抜き、12メートル下の床面に墜落したものの。(60歳代・経験10年以上15年未満)